

第23回関西障がい学生支援担当者懇談会（2019年9月12日開催）

【アンケート集計結果】

1～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数63名）、5～10はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数59名※回収率94%）

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
大谷大学	2
京都大学	2
京都教育大学	1
京都外国語大学	2
京都産業大学	2
京都女子大学	1
京都精華大学	3
京都先端科学大学	2
京都ノートルダム女子大学	3
京都府立大学	2
京都文教大学	3
同志社大学	8
花園大学	1
佛教大学	4
龍谷大学	2
合計	38

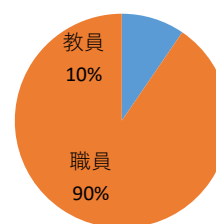
大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
大阪大学	2
大阪産業大学	2
大阪市立大学	1
追手門学院大学	1
関西学院大学	2
甲南大学	1
神戸大学	4
神戸教育短期大学	1
滋賀文教短期大学	1
長浜バイオ大学	1
奈良大学	2
奈良学園大学	1
湊川短期大学	1
武庫川女子大学	1
桃山学院大学	2
和歌山大学	1
和歌山信愛女子短期大学	1
合計	25

1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員	6	9.5
2	職員	57	90.5
	合計	63	100.0

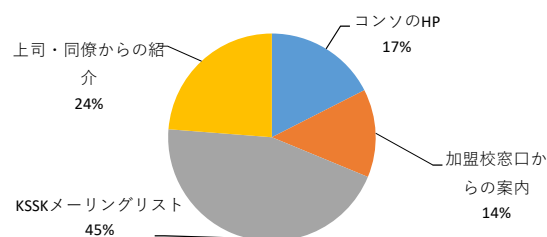
1-2 区分



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	14	17.5
2	加盟校窓口担当者からの案内	11	13.8
3	KSSKメーリングリスト	36	45.0
4	上司・同僚からの紹介	19	23.8
5	知り合いからの紹介	0	0.0
	合計	80	100.0

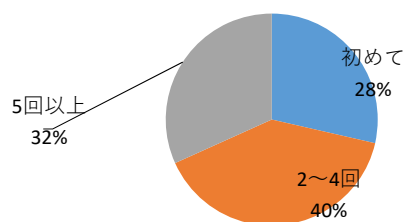
2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



3. KSSKは何回目の参加でしたか？

No	選択肢	人数	%
1	初めて	18	28.6
2	2～4回	25	39.7
3	5回以上	20	31.7
	合計	63	100.0

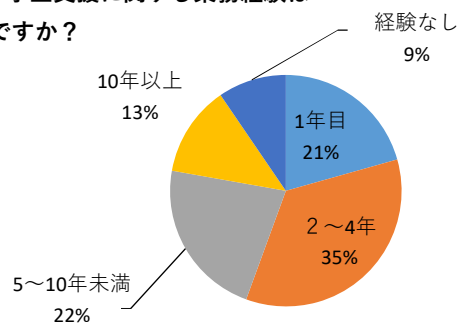
3.KSSKは何回目の参加でしたか？



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

No	選択肢	人数	%
1	1年目	13	20.6
2	2～4年	22	34.9
3	5～10年未満	14	22.2
4	10年以上	8	12.7
5	経験なし	6	9.5
	合計	63	100.0

4.障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

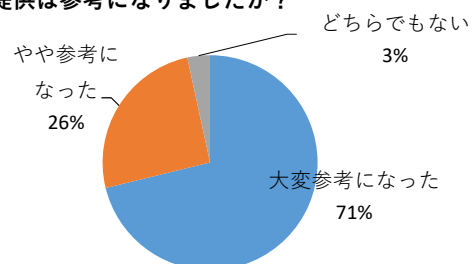


5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	42	71.2
2	やや参考になった	15	25.4
3	どちらでもない	2	3.4
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
	合計	59	100.0

5-1 話題提供は参考になりましたか？



5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

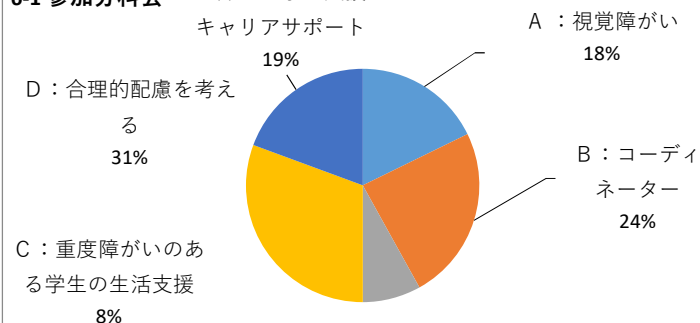
No	回答内容	理由
1	大変参考になった	HEAPには本学でも支援機器の貸し出しなどでお世話になったので、全体的な取り組みが聞けて参考になった。
2	大変参考になった	合理的配慮内容の構成要素についてしっかり確認でき、支援の内容や程度を計画する時、この7項目の視点に立つことが理解できたことです。
3	やや参考になった	既に入手済み情報であったため。
4	やや参考になった	基本的な内容が示されていたから。
5	大変参考になった	合理的配慮の構成要素が参考になった。
6	大変参考になった	合理的配慮について、自身の業務を振り返りながら確認することができた。
7	大変参考になった	HEAPには本学でも支援機器の貸し出しなどでお世話になったので、全体的な取り組みが聞けて参考になった。
8	大変参考になった	合理的配慮についてやHEAP事業について等、改めて確認することかできた。
9	やや参考になった	積極的に情報提供していただいたから。
10	大変参考になった	業務に追われている中で、日々が過ぎてしまっているので、こちらの研修会に参加することで話題提供していただけるので、改めて情報収集ができる機会として重宝しています。
11	大変参考になった	HEAPの内容だけでなく「いつでもご連絡ください」と村田先生が仰っていただいたことで、ご相談できる敷居を下げただけだったので良かったです。
12	大変参考になった	時機的に適切なテーマ（基本なので何度聞いてもよい）なので。
13	大変参考になった	合理的配慮の構成要素など、簡潔にまとめてくださり、分科会でもその資料の補足をしていただき、理解しやすかったから。
14	大変参考になった	4月からこの業務に携わったばかりで、知識がないのだが、詳細に村田先生が教えてくださったので、大変参考になった。
15	大変参考になった	合理的配慮について、何が課題、問題になっているのかきちんと検討することなど、再確認することができました。
16	大変参考になった	4月よりコーディネーターとして障がい学生支援に携わらせていただくことになり、基本的なことを大変分かりやすく知ることができました。
17	大変参考になった	今年7月に障害学生支援担当となりましたが、いままで学生支援関係の業務を担当したことがなく色々勉強不足のため、お伺いする全てが勉強になります。
18	大変参考になった	合理的配慮内容の構成要素について、知っていたけれども曖昧になりがちだったので、改めて腑に落ちました。
19	大変参考になった	久しぶりに参加させていただき、新しい情報等々を伺うことができ参考になりました。
20	やや参考になった	合理的配慮内容の構成要素と決定の手順が、その後の分科会でも再確認できたから。
21	大変参考になった	改めて基本的な部分のご説明をいただけてよかったです。
22	大変参考になった	HEAP相談事業の対応状況、障害支援を取り巻く動向を知る機会になったため
23	やや参考になった	分科会へのきっかけとなった。
24	大変参考になった	学生との相談から支援を形にする時に、合理的配慮の構成要素に立ち返り、何度も照らし合わせて検討するために非常に役に立った。
25	やや参考になった	もう少し時間をかけて、より多くの情報提供をいただきたいです。
26	やや参考になった	HEAPさんの事業を改めて知ることができました。
27	大変参考になった	最新の情報が得られたから
28	大変参考になった	基本情報から、新しい情報まで、幅広く提供いただいた点。
29	大変参考になった	今後大学で合理的配慮を考えていくうえでのポイントが知れたため。
30	やや参考になった	全国コンソーシアム大会？の報告が、参考になったから。
31	やや参考になった	相談業務での合理的配慮の部分が非常に参考になった。
32	大変参考になった	7月からコーディネーターに着任したばかりで、情報薄弱のため、いろいろな情報を聞けることがとてもありがたいと思いました。
33	やや参考になった	すでに知っている話が多かったため。
34	やや参考になった	合理的配慮の内容の決定手順などは整理されていてわかりやすかった。ただ、聞きたい内容としては、事例に基づく対応の仕方や実践事例などを分科会の時間だけでなく、もう少し時間をとって聞けたらさらに日常に生かせたと思いました。また、先進的に支援室の運営をされている実践例や組織をどのようにつくってられるかなどをお聞きできればより参考にできたと思いました。

6. 分科会について

6-1 参加分科会（※アンケートではなく受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A：視覚障がい	11	17.7
2	B：コーディネーター	15	24.2
3	C：重度障がいのある学生の生活支援	5	8.1
4	D：合理的配慮を考える	19	30.6
5	E：障がい学生支援とキャリアサポート	12	19.4
	合計	62	100.0

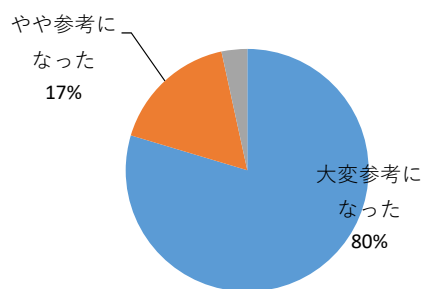
6-1 参加分科会



6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	47	79.7
2	やや参考になった	10	16.9
3	どちらでもない	2	3.4
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
	合計	59	100.0

6-2 分科会の内容は参考になりましたか？



6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

◆『A 視覚障がい』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	支援業務について原点回歸することができた。
2	やや参考になった	視覚障害への支援について概論から個別案件まで参加校で共有できた。
3	大変参考になった	中野先生の講義形式による情報提供がまとまった内容で、時間配分も良かったです。
4	やや参考になった	小講義やペアワークなどを通じて新たな知識、情報を得ることができました。
5	大変参考になった	現在本学に視覚障害学生はいませんが、今後のことを考えると対応等の知識は大変参考になります。
6	大変参考になった	ペアワークで具体的に何を確認しなければならないのか、意識しておく必要があるものが分かりました。また、質疑応答の時間では他大学の方々と事例ごとの解決策などを聞くことができたのが特に良かったです。
7	大変参考になった	他大学さんの視覚障がい学生支援の現状を知り、大変勉強になりました。
8	大変参考になった	視覚障害学生支援の最新の情報を得ることができたため。また、他大学の状況を知ることができたため。
9	大変参考になった	次年度、視覚障害の学生が入学する可能性があり、他の大学で視覚障害の学生の支援をされていることを知れて、つながりを持てたため。
10	大変参考になった	来年度の受験生で、全盲の学生が来るかもしれないということで、この分科会を選びました。弱視者は数名おりますが、全盲者はわからないことがあり、何か参考になることがあればと思いこの分科会を選び参加しました。教科書のことや、事例研究の中でどのような配慮が必要か、どのような準備が必要か、どのような手立てがあるか、機器は等々、些細なことも含め今後に生かせると感じました。また、少しですが、他大学がどのような部屋でどのような組織で支援室を運営されているかもお聞きできました。

◆『B コーディネーター』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学における事例の詳細を聞いたことで、本学においてはどのように落とし込んでいけばいいか考えやすかった。
2	やや参考になった	新たに入手できる内容が少なかった。
3	大変参考になった	同様の悩み問題が各大学であることが分かった。
4	大変参考になった	事象をある程度分類してから対応すること。
5	大変参考になった	コーディネータ業務部分だけでなく、さまざまな立場の方が参加されていたので、それ以外のところの部分に改めて目を向けることができた貴重な分科会でした。高大接続、その後の就職支援、改めて修学支援部分だけでなく後、先を見越すことのできる有意義な分科会でした。
6	大変参考になった	経験年数によって2班に途中から別れましたが、本人が希望すれば別班へ移動させていただいた臨機応変なご対応に感謝します。参加させていただいた班では、より実務的な内容をお聞きすることができ大変学びになりました。時間があっという間に過ぎた感じがします。
7	どちらでもない	ファシリテイトすることに必死でした。
8	やや参考になった	困りごとを懇談する中で、学外リソースとの連携事例と連携方法をご紹介いただけたから。
9	やや参考になった	各大学の規模や状況に応じたメリット、デメリットを伺うことができよかったです。組織的な部分に関するご意見が多く聞けましたが、実際の関わり方についても現状をもう少しお聞きできる時間があれば、より参考になったかと思います。
10	大変参考になった	職務上直面する障害支援の課題、課題の取り組み方や悩みに至るまで、経験値の違う学校（担当者）間で情報共有できたこと。
11	大変参考になった	各大学の状況や課題について具体的にお聞きできたことがとても参考になる。
12	大変参考になった	さまざまな大学の取り組みと、学部事務室や先生と学生支援課との関係性などをお聞きするよい機会となったため。

◆『C 重度障がいのある学生の生活支援』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学で重度障がいの学生への対応方法や制度が国によってどのように考えられているか等々伺うことができとても参考になりました。
2	大変参考になった	重度身体の方への社会的支援がよくわかった
3	大変参考になった	少人数の分科会であったため各大学の状況を把握しやすく、共有する課題について話し合うことができたので良かった。
4	大変参考になった	各校の具体的な困りごとと工夫が共有できたので

◆『D 合理的配慮を考える』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	学生、時に保護者と大学が話し合いをして、支援内容を調整していく事の必要性が分かりました。また、特別支援と合理的配慮の違いが理解できました。
2	大変参考になった	合理的配慮について、考え方等の基礎基本的な部分を学修することができ大変参考になった。
3	やや参考になった	質問内容について、合理的配慮内容の構成要素を確認しながら答える形だったので、単なる事例対応に終わらず、合理的配慮の考え方を整理する良い機会となった。
4	大変参考になった	具体的な事例をもとに各大学の状況と村田先生のお話を一緒にうかがうことができたため。
5	大変参考になった	各大学の事前質問に答えるレクチャー形式であったが、各大学の課題が共有でき、他大学の取り組み等の情報も得ることができたため
6	大変参考になった	他大学も本学と同様な問題を抱えていることがわかった。
7	大変参考になった	具体的な事例をもとにお話しただけだったので、大変参考になりました。他大学の現状や、今後起こりうる可能性のある事例などを知ることができました。
8	大変参考になった	他大学からの質問に答える形であり、具体的な問題に対する答えを提供して下さり参考になった。
9	大変参考になった	合理的配慮について、分かったつもりになっていないか、また当たり前と考え過ぎて見直すことができているか？という視点を今回の分科会で改めて頂くことができました。
10	大変参考になった	各大学の状況が確認できた。
11	やや参考になった	分かりやすく初心者優しい分科会だった。
12	大変参考になった	とても分かりやすかった。今まで出席した研修会の中で一番ためになったと思えた。
13	大変参考になった	話題提供に引き続き、具体的な質問事項をもとに合理的配慮についての考え方を聴くことができ、より明確になりました。

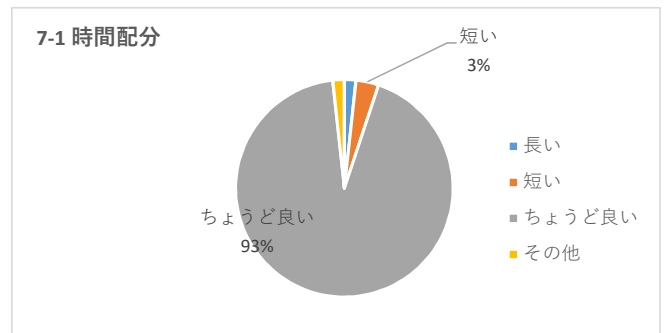
◆『E 障がい学生支援とキャリアサポート』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	具体的な事例を挙げて、参加者全員で各ケースの対応方法を考えられ、意見交換出来た点が学びになった。 また、各大学の現状や学内・学外の連携についての話で、それぞれの大学の特色を知ることが出来たので良かった。
2	やや参考になった	現状の困っていることについて、教示いただけただから。
3	大変参考になった	他大学のリアルな状況を知ることができたため。
4	大変参考になった	大学の規模によるが様々な取り組み事例を聞くことができたのが良かった。 また、難聴の方が分科会にいらっしやっただので、支援機器を使っでのコミュニケーションを初めて経験できたことも大変良かった。 ファシリテーターの先生の進め方もとてもスムーズで、有意義な時間だった。有難うございました。
5	大変参考になった	他大学の取り組みをたくさんお聞きすることができ、大変参考になりました。
6	大変参考になった	各大学の取り組みについて知ることができたため。
7	大変参考になった	各大学のご経験を本音で伺うことができました。
8	大変参考になった	活発な意見交換ができ、他大学の状況や同じ悩みを共有することができたため。
9	大変参考になった	自校で取り組めていない施策を知ることができたため。
10	どちらでもない	ファシリテーターとしての参加であったため、参加者の満足度を優先していたため。
11	やや参考になった	他大学の障がい学生就職支援について、もっとお話が聞けたらよかった。

7. 懇談会全体について

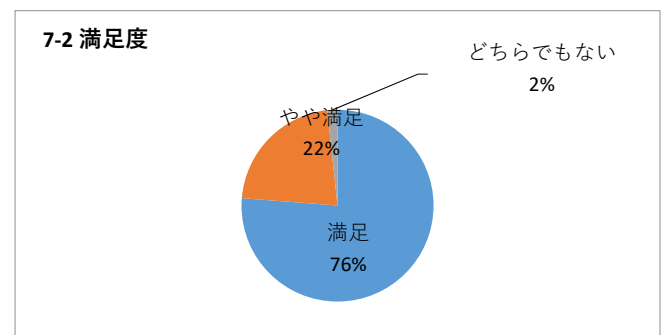
7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	1	1.7
2	短い	2	3.4
3	ちょうど良い	55	93.2
4	その他	1	1.7
合計		59	100.0



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	45	76.3
2	やや満足	13	22.0
3	どちらでもない	1	1.7
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		59	100.0

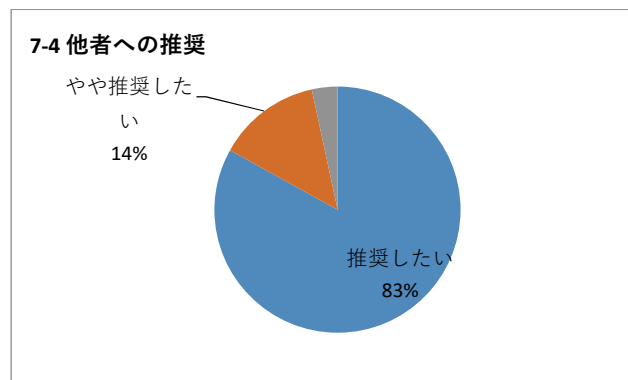


7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	ざっくばらんに情報共有ができたので、次も参加したいと思った。
2	満足	他大学の実践状況、実践例を知ることができるからです。
3	満足	いつも他大学の方との情報交換ができて有意義な時間を過ごさせていただいております。
4	満足	前回より参加をさせて頂いているが、本会～情報交換会まで、どの時間を切り取っても参加する価値があると感じるほど大変有意義な時間を提供いただいている。
5	満足	昨年度から参加させていただいておりますが、その場でさまざまな方と交流、悩みを打ち明けることができる貴重な機会を設けていただいていることがありがたいです。
6	満足	自分たちの大学だけで考えるのではなく。
7	やや満足	ちょっと狭かったので。
8	満足	必要な情報を得ることができたから。
9	満足	見聞を深めることができた。
10	満足	他大学の方々との情報交流をすることもできました。
11	満足	今回初めて参加しましたが、他大学の方の悩みや対応を共有していただき、安心と心強さを感じました。その他分科会の内容の共有も楽しみにしております。
12	満足	障害支援に関する知識を深める機会と他大学の方とのネットワーク作りができる場を提供いただけ、感謝しています。
13	満足	今回も初めて参加された方がたくさんおられたから。
14	満足	関係者のみなさまと直接お会いして情報交換できる場はありがたいと感じています。
15	満足	障害支援の組織整備や担当者としての対応のあり方、自大学で抱える課題への取り組み方にいたるまで、様々な示唆やアドバイスをキャッチできたこと。
16	満足	分科会を設けていただいたおかげで現在サポートしている学生の相談をすることができた為。
17	満足	障がい学生支援に取り組んでおられる皆さんから学ばせて頂けることが多く、このような機会は大変ありがたいです。
18	満足	現在の障がい者対応の状況と今後の方向性が確認できた。
19	満足	取り組みが滞っている課題について整理することができた。配慮のプロセスをきちんと踏まえて取り組むことの大切さを、お話の中で改めて見直すきっかけとなった。
20	やや満足	話題提供の時間としては、適切かと思います。一方で障害学生支援に関する最新の動向を情報提供いただける時間（60分程度）があれば助かります。
21	満足	知りたい情報が得られたからです。
22	満足	いつも新しい知見や課題の発見があります。本当にありがとうございます。
23	満足	有意義な情報を得ることができたため。
24	やや満足	新しい方もおられて、交流することができたから。
25	満足	今、業務上、ちょうど困っていることに関する情報を得ることができたため。
26	やや満足	分科会では、他大学の情報をもっと提供していただきたかった。
27	満足	コーディネーターだけでなく、障がい学生の支援に携わる多様なお立場の方との交流は、とても貴重だと感じたからです。
28	満足	学ぶことや知ること、得るものが多かったため。
29	やや満足	分科会の内容はとても充実していました。少し時間が足りないくらいでした。分科会参加校の中で、各大学がどのように支援室を運営されているのかなどを聞けてもよいかと思いました。（私は今年から勤務しているので全く他の大学のことを知らないのでも）

7-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	49	83.1
2	やや推奨したい	8	13.6
3	どちらでもない	2	3.4
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	0	0.0
6	やや推奨したい	0	0.0
	合計	59	100.0



8. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	障がい学生を受け入れた場合、介助などの人的支援、機械借用など各大学でどのように取り組んでいるか、国や自治体からの補助金や人的支援の制度について。
2	事例検討会、高大連携。
3	専門職学部の発達障害学生のキャリア支援。
4	防災についての分科会、合理的配慮ができていくかどうかというチェック機能をどのように構築しているか。
5	学内の他部署との連携や、学部の社会資源との連携について取り上げてほしいのではないと思う。
6	グレーゾーンの学生に対する就職活動の支援について。
7	事例検討会（1つの困難事例に対して、自分の大学ならどのように動いてどのような支援まで出来そうかなどを出し合いたい。システムが整っている大学が最新機器を使ったり豊富な支援学生が居る状況で出せる答えではなく、整っていない大学の現状でできる各々の対応を聞いてみたい。テキスト等で示されているモデルはきれいに解決し過ぎている印象もあるため。）
8	テクニカルスタンダード、障害者権利条約とインクルーシブ教育等。
9	就労移行、キャリア形成の分科会の継続。
10	今回の「分科会D 合理的配慮を考える」のように講義形式で基本や基準として立ち返ることができる考え方を教示いただける内容。
11	建設的対話、セルフ・アドボカシー。
12	マネジメント（管理）部門の懇談会。
13	コーディネーター業務のうち、障害の態様によって支援の取組方が異なるため、以前企画された「事例研究」する機会を設けて貰えると有難いです。
14	学内での連携や、SD、FDの開催方法や事例など広く知ることができればと思います。（大学により事情も異なるため正解と言えるものはないと思いますが…）
15	障がい学生支援と防災教育・対策。
16	支援の具体例の紹介。
17	学内外の教職員間や他機関での連携のあり方に課題がある。難しい課題であるほど連携が重要であるが、支援の方向性や構造、情報共有の考え方などが連携を困難にさせている。支援者の意識や着目点から連携支援体制の構築を図るために必要な事柄を検討したい。
18	精神疾患や発達障がいのある学生に関する学内外機関との情報共有について。
19	障がいのある留学生（受け入れ・送り出しいずれも）支援について。
20	支援機器の分科会、支援機器の体験会の継続、留学生の対応、学習障害学生への合理的配慮、実験・実習の合理的配慮。
21	視覚障害学生の支援について。
22	精神・発達障がいの学生に提供できる就職活動の事例・情報等。
23	その時々で、直面している課題が違うので、一概には言えません。

9. 懇談会の改善点があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	UDトークの機器一式は、今回に限らずいろんな場で必要になるはずですので、主催者側で用意いただけないでしょうか？持ち歩きによる事故を未然防止したいです。
2	指導者からの今までの経験の中でのケーススタディを提供して下さると更に初めての参加者もイメージが湧きやすかったのではないのでしょうか。
3	特にありません。毎回、バリエーションある企画は、些細な要望や意見も反映されており、担当者としてとても有難く、幹事校の皆様には準備から当日の運営に至るまで感謝しております。
4	特にありません。いつもご準備から運営等々、ありがとうございます。
5	食事の余りが多かったので、いっそのこと飲み物だけにするか、何かお菓子か軽食までにするなどして、参加費1000円～1500円ほどにすることはできないか？
6	以前、話題提供では、個別の大学の取り組み等をお話いただいていたと思います。とても参考になったので、またそのような機会があれば、勉強させていただきたいです。
7	大学における支援室の役割は、大切であると思います。私のように初めてでありよくわかっていない者も参考になるような内容や他大学ではどのようにされているのかを聞かせてもらい、少しでも自校に生かせたらと思います。

10. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	お世話になりありがとうございました。インターンシップ生がいると、内容によっては職員としての本音がいいにくいことや、質問できないこともあると思います。
2	いつも大変お世話になりありがとうございます 今後ともよろしく願い申し上げます
3	大変貴重な時間をご提供頂き、誠にありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願い致します。
4	いつもありがとうございます。
5	特にございません。ありがとうございました。
6	コンソーシアム会員外にも無料で広く情報共有の場を設けていただき、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
7	今回、コーディネーターの分科会を担当し、実務的な話を中心となると思っておりましたが、経験年数の浅い方からは、組織の立ち上げの話が多く上がり、私では力不足でした。「組織の立ち上げ」というテーマは分科会の中に必要であると感じました。
8	貴重な時間を過ごすことができました。お世話になりありがとうございました。
9	特にありません。今後ともよろしくお願い致します。
10	情報交換会は他の分科会の方との交流がのぞめる場ですが、参加されない方も多と感じます。飲み物と片手つまめる程度のもので参加費を抑えることは可能でしょうか。
11	大学内の合理的配慮ももちろんのこと、学生の将来(社会に出るために)を考えていくことのできるセミナー等。
12	いつも勉強になっております。ありがとうございます。